

古代、女性にその名を問うことは^A vを意味した。(1)万葉集巻頭の歌も、菜を摘む娘に「あなたはどちらの家の人か。名前を教えて」と迫っている。名前にはその人の魂がこもり、名乗ることは魂を相手に渡すこと、結婚を受け入れることだったという▼確かに名前には不思議な力が①ヤド()る。作家(2)三島由紀夫の本名は平岡②公威()。若々しいペンネームに比べ、③ソウチョウ()な感じだ。もし本名で書いていたら、あの若さで死を④ト()げることにはなかっただろうという見方を、どこかで読んだ記憶がある▼名前に人生を大きく左右されるあるいは⑤呪縛()される。そこまではいなくても、微妙な影響を受けることはあるかも知れない。名前の方も、時代の影響を⑥被()らざるをえない。「子」のつく名の女子が多かった昭和は随分遠のいた▼名づけには子どもの幸せを願う親の愛が映る。他人と間違えられないために、が命名の根本条件だといったのは批評家の(3)小林秀雄だが、世の中にたった一つという個性の追求も昨今は当たり前だ▼明治安田生命保険による赤ちゃんの名前ランキングには、読み方の難しい名が並ぶ。例えば男子の⑦大翔()、女子の⑧結愛()。(4)思いの詰まった漢字の選び方、そしてその自由(5)ホンポウな読ませ方に目をみはる▼文筆家伊東ひとみさんの近著『キラキラネームの大研究』によれば、漢字は今や、その起源や来歴から⑧カクゼツ()され、イメージ優先の「感字」と化したのかも知れないという。⑩トウセツ()の名づけの特徴と歴史的背景を分析して鋭い。

〔2015年7月6日「天声人語」〕

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを答えなさい。

問二 文脈から考えて、^AVにあてはまる2字熟語を書き入れよう。

問三 傍線部(1)を調べて、雄略天皇御製のその歌を調べて書いておこう。

問四 傍線部(2)の作品でないものの記号を○で囲もう。

ア 『潮騒』 イ 『憂国』 ウ 『范の犯罪』 エ 『金閣寺』

問五 傍線部(3)の作品でないものの記号を○で囲もう。

ア 『本居宣長』 イ 『私小説論』 ウ 『紀貫之』 エ 『近代絵画』

問六 傍線部(4)とあるが、例えば「大翔」にはどんな思いが詰まっているか。

問七 傍線部(5)を漢字に直し、その意味を答えよう。

漢字() 意味()

問八 自分の名前に込められた思いを調べてみよう。

()